

# 平成 25 年度機器・分析技術研究会鳥取大会参加報告

## 程内 和範 化学・生物技術分野

### 1. はじめに

平成25年9月中旬、鳥取大学技術部の主催により、平成25年度の機器・分析技術研究会が鳥取大学において開催された。この研究会は、平成7年に第1回目が開催され、全国の大学等の技術部が持ち回りで開催している。今回の鳥取が第19回目の開催である。機器・分析装置の維持・管理における専門的な技術の習得および技術研鑽を目的として、本学から大塩、程内の2名が参加した。

### 2. 鳥取大会における研修

開催期間： 平成25年9月12日(木)～13日(金)

開催場所： 鳥取大学 鳥取キャンパス

鳥取大会には、全国の国立大学、高等専門学校、研究所等から215名の技術職員等が参加した。鳥取大学理事・副学長である田中久高技術部長による歓迎の挨拶、鳥取大学大学院工学研究科清水正樹教授による特別講演「地盤工学としての地盤の液状化現象 原因・被害・対策」を皮切りに、機器分析等に関わる80件の発表・討論が行われた。今回一般発表の全てが、各自2分間

のポスタープレビュー講演(質疑応答は無し)に、40分のポスター展示を組み合わせた発表形式で行われた。また、特別企画「安全衛生セッション～法人化10年目を迎えて～」が行われ、口頭発表6件と、パネルディスカッションで構成されていた。日頃の安全衛生活動や、拡張させた取り組みなど、各大学の安全衛生に関する発表を聞くことが出来た。また、会場の参加者と共に活発な討論が行われ、法人化10年目の節目として、安全衛生について振り返り今後の展望へと繋がった。

### 3. おわりに

大型分析装置の維持・管理技術、装置の利用技術、大学の安全衛生に関して多くの知見が得られ、大変有意義な大会であった。我々技術職員はこのような技術研究会への参加によって、教員が所属学会で自身の研究をさらに発展させるのと同様、自身のポテンシャルをより一層高めることができるものと考えられる。最後に、貴重な研修の機会を与えて頂いた技術支援センターの皆様、この場をお借りして感謝を申し上げたい。

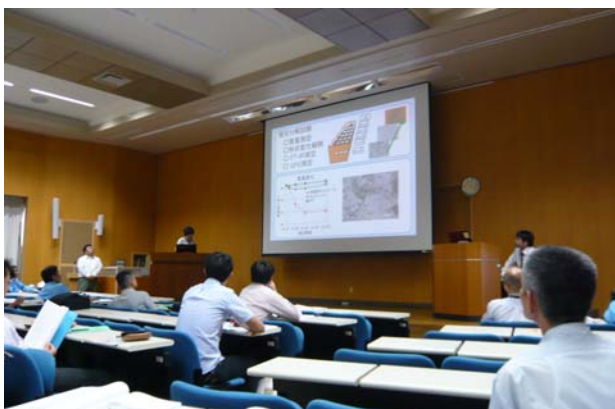


写真-1 ポスタープレビュー講演



写真-2 ポスター展示発表